



2027年度より

子ども・発達支援領域を強化！

# 保育士養成プログラムがスタート！

## リハビリ専門職を目指しながら、 保育士資格取得にも挑戦できる！



本学は資格の取得だけではなく、専門性の拡がりを重視しています。保育士養成プログラムを通じて、子どもと家族を支える力を身につけ、多様な現場で活躍できるリハビリ専門職を育成します。

### なぜ保育・発達支援を学ぶの？



医療・リハビリテーションの専門性を基盤に、子どもの発達・成長・コミュニケーションを支える力を育てることで、保育・教育・福祉の分野へ活躍できる領域を拡大できます。

#### 子どもの発達理解が深まる

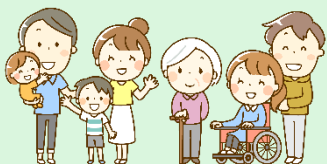
保育や発達支援について学ぶことで、子どもの身体・心・ことばの発達をより深く理解できるようになります。

#### 子どもと家族を支援する力が身につく

子どもだけではなく、その成長を支える家族や地域との関わりについて学ぶことで、より実践的な支援力を身につけることができます。

#### 活躍の場が広がる

医療と保育・福祉をつなぐ人材として、病院や施設だけでなく、保育・教育・福祉の分野など多様な現場で活躍できる可能性が広がります。



### 保育士の資格をとるには？



保育士資格は通常、指定保育士養成施設(大学・短大・専門学校)で学んで取得します。しかし、大学に2年以上在学して62単位を修得済みであれば、年2回実施される「保育士試験」に合格することで取得することが可能です。本学においても、3年生の前期以降で保育士試験の受験が可能になります。

### 保育士試験はどんな試験？

#### 筆記試験

「保育原理」「社会福祉」「子どもの保健」「保育実習理論」など8つの科目あり、全科目に合格すると実技試験に進めます。合格科目は3年間有効で、科目を分けて順にチャレンジすることも可能です。

#### 実技試験

保育実習実技に関する試験で、音楽、造形、言語の3分野から2分野を選択して受験します。

### こんな方におすすめ！

- 将来は子どもを専門に支援したい。
- リハビリ専門職として活躍の領域を上げたい。
- 子どもの発達や発達支援について学びたい。
- 保育士資格の取得にも挑戦したい。

### 資格をとるためにどんなサポートがあるの？

リハビリ専門職にとって多くのメリットがある保育士資格取得のために、びわこでは、保育士試験の受験対策をサポートします。



#### 「保育学入門」を開講

資格対策として、保育原理と保育実習理論を学ぶ「保育学入門」を2年生後期に開講します。



#### 既存科目で学修可能

本学で設置する学修範囲が近い科目を履修することで、筆記試験に必要な分野を学修できます。



#### 担当教員がサポート

本来の目的であるリハビリの学修に支障がないよう、担当教員が試験対策をサポートします。



#### 実習・実技にも対応

音楽・造形・言語などの実技指導や保育園の見学実習にもしっかり対応します。



学校法人 藍野大学

## びわこリハビリテーション 専門職大学

理学療法学科・作業療法学科・言語聴覚療法学科

<https://bpur.aino.ac.jp/>

